



【学会情報】

日本ブドウ・ワイン学会2022年大会の開催報告

澤邊昭義¹・渡辺(齊藤)史恵²

¹近畿大学農学部, ²山梨大学生命環境学部

Reports on 2022 ASEV JAPAN

Akiyoshi SAWABE¹ and Fumie WATANABE-SAITO²

¹Faculty of Agriculture, Kindai University

²University of Yamanashi

日本ブドウ・ワイン学会2022年大会が、一般講演はオンライン・オンデマンド配信（2022年11月21日から25日まで）され、11月26日に山梨大学でセミナー、受賞講演および特別講演が山梨大学で開催された。本年度で第37回目の大会実行委員長は安蔵光弘氏（山梨県ワイン酒造組合会長）が務めた。

本年度の大会は、昨年度から引き続く新型コロナウイルスの状況で一般講演がオンライン・オンデマンド配信で、評議会、セミナー、授賞式、受賞講演、特別講演および総会が対面の開催となった。事

務局の皆様の多大なる努力により本大会を無事開催できたことに感謝するとともに、参加いただいた方々に感謝の意を表したい。

一般講演（口頭発表・オンデマンド配信）が27題あり、多数の発表に大会事務としても嬉しい事柄であった。

セミナーは、鹿取みゆき氏（信州大学特任教授・日本ワインブドウ栽培協会 代表理事）による「日本におけるワイン用ブドウの課題と展望～日本ワインブドウ栽培協会の取り組みとともに」の講演が行わ



大会実行委員長 安蔵光弘氏の挨拶



セミナー 鹿取みゆき氏の講演

れた。

特別講演は、Thomas Sean Collins 氏(ASEV President)による「Risk Assessment and Mitigation of Smoke Exposure Effects on Grape and Wine Quality」の講演が行われ、講演課題ワインのテイスティングも賞味できた。

本大会におけるオンデマンド配信による一般講演および対面によるセミナー・受賞講演・特別講演の参加人数は以下に示したとおりで、多数の参加を戴き、活発な質疑応答もあり、盛況におこなわれた。



Thomas Sean Collins 氏による特別講演の挨拶

1. 参加者数

1-1. 大会 合計 292名

内訳

・オンラインのみ、対面不参加

一般会員 159名

学生 12名

名誉会員 1名

・対面参加（26日）

一般会員 96名

学生 19名

名誉会員 1名

招待者 4名

2. 学会賞受賞・大会発表賞の受賞者

2022年功労賞：

奥田 徹（山梨大学）

「日本ブドウ・ワイン学会の運営および学術的貢献」



功労賞：奥田 徹氏（山梨大学）

2022年技術賞：

山梨県・山梨県ワイン酒造組合

「‘甲州’のワイン用推奨系統の選抜および普及」



技術賞：山梨県・山梨県ワイン酒造組合

2022年論文賞：

清水秀明（酒類総合研究所）

「ワインの無機元素に関する研究」



論文賞：清水秀明氏（酒類総合研究所）

2022年論文賞：

鈴木俊二・榎 真一（山梨大学）
「‘甲州’ ブドウの特性解明に関する研究」



論文賞：鈴木俊二・榎 真一氏（山梨大学）



講演会場の様子

大会発表賞

本年度の大会発表賞は、審査の結果が同得点で2名の方の受賞が決まりました。

平田佳佑（山梨大学）

「pHがマスカット・ベーリーAワインのポリフェノールに及ぼす影響」

芹澤 樹（山梨大学）

「ジグルコシド系アントシアニンは高pHで容易に退色する」



大会発表賞：
(左) 平田佳佑（山梨大学）、(右) 芹澤 樹（山梨大学）